

(様式)

## パブリックコメント実施結果報告書

令和3年3月24日

担当課	林政企画課
担当者	北村
連絡先	7300 (内線)

### パブリックコメントのテーマ：とっとり森林・林業振興ビジョン（案）

#### 1 手段別意見応募件数（意見件数を記入し、応募者数は（ ）書きをしてください。）

郵便	ファックス	電子メール	県民参画協働課・ 総合事務所等 (意見募集箱)	電子 アンケート	説明会等	その他	計
74 (68)	34 (18)	73 (32)	0 (0)	－ (－)	18 (10)	0 (0)	199 (128)

#### 2 応募意見の政策案等への反映状況

対応状況	件数	主な意見
反映した (一部反映を含む)	11	<ul style="list-style-type: none"><li>・皆伐後は、スギ、ヒノキに限らず広葉樹の植栽等柔軟な対応が必要だ。</li><li>・非住宅建築物での県産材利用の推進にあたっては、設計士の養成が重要である。</li><li>・木材の地産地消の取組を推進すべきだ。</li><li>・新規しいたけ生産者の確保について記載すべきだ。</li></ul>
既に盛り込み済み	66	<ul style="list-style-type: none"><li>・本県に自生しないコウヨウザンやカラマツの植栽は慎重に行うべきだ。</li><li>・ナラ枯れは、道路周辺の枯損木の伐倒除去程度の作業にとどめ、経過を観察する等で十分だ。</li><li>・林業労働災害低減の目標が必要ではないか。</li><li>・意欲ある小規模事業者をうまく育てるような施策も進めるべきだ。</li><li>・森林環境教育や木育の拡充を望む。理解して楽しむ教育が重要だ。</li></ul>
今後の検討課題	4	<ul style="list-style-type: none"><li>・これまでの作業システムを見直して林業労働安全対策を講じることが重要だ。</li><li>・現場に精通し山を観る力とITデータをバランスよく掛け合わせる事ができる人材の育成が肝要だ。</li></ul>
対応できない	4	<ul style="list-style-type: none"><li>・全国的に再生林の実効率が低く、皆伐施業を推進すべきではない。</li></ul>
その他上記に分類 できないもの	114	<ul style="list-style-type: none"><li>・風力発電事業に反対だ。</li></ul>
計	199	

#### 3 公表方法として該当するものに○を付してください。

とりネットで の公表（担当 課による）	報道機関への提供	県議会への報告	広報紙等への掲載	関係団体等への報告	その他
○		○	○	○	○